

(2) 病弱学級

授業時数 教科領域		単一障害学級（Ⅰ 類型）			重複障害学級（全学級）		
		1年	2年	3年	Ⅲ類型－1	Ⅲ類型－2	Ⅳ類型
教科・領域別指導	国語	140 (3.5)	140 (3.5)	105 ^(2.5) (+0.5)	570 (14.5)	465 (12.5)	70 (2.0)
	社会	105 (2.5)	105 (2.5)	140 (3.5)			
	数学	140 (3.5)	105 (2.5)	140 (3.5)			
	理科	105 (2.5)	140 (3.5)	140 (3.5)			
	外国語	140 (3.5)	140 (3.5)	140 ⁽³⁾ (+1)			
	音楽	35 (1.0)	35 (1.0)	35 (1.0)	70 (2.0)	70 (2.0)	35 (1.0)
	美術	35 (1.0)	35 (1.0)	35 (1.0)	70 (2.0)	70 (2.0)	
	保健体育	70 (2.0)	70 (2.0)	70 ⁽²⁾ (+0.5)	70 ⁽¹⁾ (+1)	70 ⁽¹⁾ (+1)	
	技術・家庭 (職業・家庭)	55 ^(1.5) (+0.5)	55 ^(1.5) (+0.5)	35 (1.0)	70 (2.0)	70 (2.0)	
	道徳	35 (1.0)	35 (1.0)	35 (1.0)	全体計画を作成し、教育活動全体の中で指導を行う。		
	特別活動	35 (1.0)	35 (1.0)	35 (1.0)	35 (1.0)	35 (1.0)	35 (1.0)
	自立活動	70 ⁽¹⁾ (+1)	70 ⁽¹⁾ (+1)	70 ⁽¹⁾ (+1)	70 ⁽¹⁾ (+1)	175 ⁽³⁾ (+1)	875 ⁽²⁵⁾ (+2)
	総合的な学習の時間	50 ⁽¹⁾ (+0.5)	50 ⁽¹⁾ (+0.5)	35 (1.0)	60 (1.5)	60 (1.5)	
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導				80 (2.0)	80 (2.0)	105 (3.0)
	生活単元学習				210 (5.0)	210 (5.0)	
	作業学習				210 (5.0)	105 (3.0)	
合 計		1015 ⁽²⁵⁾ (+2)	1015 ⁽²⁵⁾ (+2)	1015 ⁽²⁵⁾ (+3)	1015 ⁽²⁵⁾ (+2)	1015 ⁽²⁵⁾ (+2)	1015 ⁽²⁵⁾ (+2)
行事(課外)		12	13	14	Ⅰ 類型の各学年と同じ		
特活（課外）		7	7	7			
合計		1034	1035	1036			

○()内は週時数の目安、それ以外はまとめ取りで実施。

○自立活動の時数は、生徒の実態に応じて弾力的に扱う。

○Ⅱ類型の時数については、在籍学級の時数を基本に弾力的に扱う。

○重複学級の各教科の時数は標準的なものを示している。生徒の実態に応じて弾力的に扱う。

斜体は、各教科等を合わせた指導を行う場合の目安を示している。

○は取り扱わない教科等を示している。